

Let's go to the library!

どくしょびん かなび読書便

令和6年7月発行

いよいよまちにまった夏休みがやってきますね。夏をたっぷり楽しんで、また2学期に図書館へきてくださいね。この第1号では、1学期の図書館の様子と養護の先生のおすすめの本、夏休みに読んでほしいおすすめの本をお届けします！

大庭小学校

<図書委員会の活動>

1学期の図書委員会では2学期の図書館のイベントの計画と、景品づくりをしました。図書委員手作りのしおりをたくさん用意していますので、2学期のイベントを楽しみにしててくださいね。読書ビンゴをすすめてくと、いいことがあるかもしれませんよ

しおりがたくさんできあがりました。くじ引きにつかいそうなものも作っていますよ。



休み時間は図書館が混雑する日もあります。図書委員は大忙しです。

<養護の田村先生のおすすめの本>

『たいせつなこと』 マーガレット・ワイズ・ブラウン 著

この本は、身近にあるものの「たいせつなこと」について書かれています。「たいせつなこと」なんて、ふだんあまり考えることはないですよ。最後のページを読んだときの心地よい、安心できる気持ちをみなさんにも感じて欲しいなと思います。中学生のみなさんには、原文「THE IMPORTANT BOOK」もおすすめです。ページごとに工夫が凝らしてあるようです。

中学年～

湖東中学校

<図書委員会企画 図書Week ブックロッタリー>



ブックロッタリーとは本のくじという意味です。本を借りた人は冊数に関係なく1回くじを引くことができます。景品はしおり・ブックカバー・+2冊借りられる券など、すべて図書委員の手作りのものです。この期間を昨年度と比べると貸出冊数は222冊増・来館者数は413人増とたくさんの方に参加してもらったことがわかります。ほとんどの景品がなくなり大盛況に終わりました。きっかけは何であれ、本や図書館に関心を持ってもらえる企画となりました。



<養護の土江先生のおすすめの本>

『ディズニーランドであった心 温まる物語』 香取貴信・監修

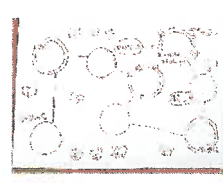
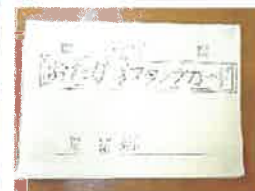
ディズニーランドは、行ったことがない人でも見たり、聞いたりすることがあると思います。特別な世界観があり、わくわくして楽しい気持ちにさせてくれます。この本は実際にそこで働いていた人（キャスト）たちが、体験したことや、お客様（ゲスト）との出来事がたくさん紹介されています。読むと心がほんわかして、とても温かい気持ちになります。そして働くことの楽しさも感じられる本だと思います。ぜひ読んでみてください。

高学年～

竹矢小学校

<図書委員会企画 おたからすごろくスタンプカード>

休み時間にスタンプカードを持って本を借りに来ると、図書委員さんにスタンプをおしてもらえて、スタンプがたまるとしおりがもらえたり、3冊かりられたりするイベントがありました。たくさんの参加ありがとうございました！



←スタンプを集めるのが楽しくなるように、学年によってデザインの違うスタンプカードを作りました。

しおりは好きなデザインと色を選ぶようにしていました。↓



<養護の森田先生のおすすめの本>

『うみとりくの からだのはなし』 遠見 才希子・文 佐々木 一澄・絵

「うみ」と「りく」という双子が主人公のお話です。双子の2人は、そっくりだけど、体や気持ちの部分で違うところもあります。相手の気持ちや体を大切にするってどういうこと？自分を大切にすることってどういうこと？この本には、相手のことや自分を大切にするために必要なことが分かりやすく書かれています。竹矢小学校の保健室にも置いているので、ぜひ読んでみてください。

低学年～



さあ夏休み！こんな本はいかが？

『れいぞうこのなつやすみ』

村上しいこ 作（PHP研究所）低・中学年～

ある暑い日、けんいちの家の冷蔵庫が冷えなくなっていました。壊れたのかと思って様子をみていると、突然冷蔵庫がしゃべり、夏休みが欲しいと言いだしました。そこでけんいちの家族は冷蔵庫と一緒にプールへ出かけます。

はたして冷蔵庫がプールに入ることができるのか、そもそも泳ぐことができるのか、ツッコミどころ満載のお話です。

『ヘルンとセツ』

田淵久美子 著（NHK出版）中学校～

小泉八雲とセツ。二人の奇跡の出会いから「怪談」が生まれます。英語教師になったラフカディオ・ハーンは松江の中学校にヘルン先生としてやってきます。ある日セツは、ハーンの身の回りの世話をすることになり、二人の仲が深まります。セツの怪談に興味を持ったハーンは何度も話を聞き、そして二人の共同作業が始まります。来年ドラマ化されることに決定しました。楽しみです！

『Red レッド あかくてあおいクレヨンのはなし』

マイケル・ホール 作（子どもの未来社）低学年～

レッドは青いクレヨンですが、レッド（赤）と書かれたラベルをはられています。そのラベルを見たみんなは、レッドが赤いクレヨンだと思いこんでいました。レッドも赤いものをかこうとがんばりますが、どうしても上手にかけません。

ある日、新しい友達にたのまれて海をかいいてみたレッドは自分の本当に得意なことに気づきます。



みなさんこんにちは！

湖東中の田中智恵子、大庭小の古川愛生、竹矢小の藤崎ひろです。

学期に1回ですが、3校の皆さんに向けて、かなび読書便を発行します。

本の紹介はもちろん、それぞれの学校の様子をお知らせして、楽しく読んでもらえるおたよりにしたいと思います。

よろしくお願ひします！